

JPAB

CLIPPEDIMAGE= JP402231671A

PUB-NO: JP402231671A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02231671 A

TITLE: BETTING SYSTEM FOR TERMINAL FOR STAY-AT-HOME BETTING SYSTEM

PUBN-DATE: September 13, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MANABE, HIDEO

INT-CL_(IPC): G06F015/28; G07C013/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve operability, to execute betting by the preferable coupling of horses and to improve service to a customer by using a betting system by horse name selection.

CONSTITUTION: Based on the display information of pictures C, D and E selected by an operating mode selecting means 2a, the number of the couple, the number of a race and the name of the horse. Then, a result is displayed in a betted result display picture B and confirmed and the betting is executed. Otherwise, the betting input picture B is displayed based on the display information of a picture A selected by the operating mode selecting means 2a and afterwards, the number of the couple, the number of the race and the name of the horse are inputted. Then, the result is displayed in the betting input picture B and confirmed and the betting is executed. Thus, the fan service can be improved to a stay-at-home betting.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

⑫公開特許公報(A)

平2-231671

⑬Int.Cl.⁵G 06 F 15/28
G 07 C 13/00

識別記号

府内整理番号

Z 7165-5B
A 7347-3E

⑭公開 平成2年(1990)9月13日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全7頁)

⑮発明の名称 在宅投票システム用端末による投票方式

⑯特 願 平1-52134

⑰出 願 平1(1989)3月6日

⑱発明者 真辺 英雄 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

内

⑲出願人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

⑳代理人 弁理士 青木 朗 外4名

明細書

1. 発明の名称

在宅投票システム用端末による投票方式

2. 特許請求の範囲

1. テレビ放送処理機構を備えた文字多重放送処理部(1)と、投票処理部(2)からなり、

前記文字多重放送処理部(1)からの文字多重放送用のディジタル信号を変換して投票処理部(2)の計算機システムに入力し、編集、処理した結果を前記文字多重放送処理部(1)で表示する手段(①)と、

前記投票処理部(2)からの指示に基づき、前記投票処理部(2)の計算機システムのキーボード(KB)又はリモートキーパッド(8)により、電話投票システムに投票情報を送信する手段(18)とを備えた在宅投票システム用端末(9)において、

前記在宅投票システム用端末(9)における動作モードを選択する手段(2a)と、

投票する場合の、発売区分選択画面(A)と、投票入力の指示及び投票結果を表示する画面(B)と、表示する場合の、発売区分選択画面(C)と、前記

画面(C)での選択情報に基づくオッズ等選択画面(D, E)を含む表示手段(2b ~ 2f)とを備え、

前記動作モード選択手段(2a)により選択した画面(C, D, E)の表示情報に基づき組番、レース番号、馬名を入力し、その結果を前記投票結果表示画面(B)に表示し確認して投票するか、

若しくは、前記動作モード選択手段(2a)にて選択した画面(A)の表示情報に基づき投票入力画面(B)を表示した後、組番、レース番号、馬名を入力し、その結果を前記投票入力画面(B)に表示し確認して投票することを特徴とする在宅投票システム用端末による投票方式。

3. 発明の詳細な説明

〔概要〕

在宅投票システムにおける在宅投票システム用端末による投票方式に関し、

在宅投票ファンに対するファンサービスの向上を目的とし、

テレビ放送処理機構を備えた文字多重放送処理部と、投票処理部からなり、前記文字多重放送処

理部からの文字多重放送用のディジタル信号を変換して投票処理部の計算機システムに入力し、編集、処理した結果を前記文字多重放送処理部で表示する手段と、前記投票処理部からの指示に基づき、前記投票処理部の計算機システムのキーボード又はリモートキーパッドにより、電話投票システムに投票情報を送信する手段とを備えた在宅投票システム用端末において、前記在宅投票システム用端末における動作モードを選択する手段と、投票する場合の、発売区分選択画面と、投票入力の指示及び投票結果を表示する画面と、表示する場合の、発売区分選択画面と、前記画面での選択情報に基づくオッズ等選択画面を含む表示手段とを備え、前記動作モード選択手段により選択した画面の表示情報に基づき組番、レース番号、馬名を入力し、その結果を前記投票結果表示画面に表示し確認して投票するか、若しくは、前記動作モード選択手段にて選択した画面の表示情報に基づき投票入力画面を表示した後、組番、レース番号、馬名を入力し、その結果を前記投票入力画面に表

示し確認して投票するように構成する。

〔産業上の利用分野〕

本発明は在宅投票システムにおける在宅投票システム用端末による投票方式に関する。

投票券発売システムの如きトータリゼータシステムにおいて、投票券の購入方法として、場内、場外の投票券発売窓口にて馬券等の投票券を購入する現金投票システムと、会員制による電話投票システムがある。

これらの内、電話投票システムは、顧客が競馬、競輪等の情報を、新聞、テレビ、ラジオ等を利用して収集し、自分で解析した結果に基づき電話機を用いて予め定められた手順によるキー入力により投票している。

〔従来の技術と発明が解決しようとする課題〕

第6図は従来の電話投票システムの構成例を示した図である。

電話投票システム3は、年毎に着実に設備、加

入者とも伸びているが、端末が電話機7且つ有線による双方向通信であるということから、例えば、音声応答システム(ARSシステム)では1回の投票当たりの通話時間を120秒として1システム当たり3000人、オペレータの介在するCRT方式では1回の投票当たりの通話時間を60秒として1システム当たり6000人、に1つの電話投票システム当たりの加入者を限定しないと、総合センタ4でのデータ処理が幅々として顧客に対するサービスが低下する問題があり、運用コストも増加してしまうという問題があった。

本発明の目的は、顧客が家庭において、競馬、競輪等のレース結果を判断し、効果的な投票を行うことができる在宅電話投票システムにおいて、使用される在宅投票システム用端末による投票方式により、在宅投票ファンに対するファンサービスの向上を図ることにある。

〔課題を解決するための手段〕

第1図は本発明の在宅投票システム用端末によ

る投票方式の原理図である。

本発明は、テレビ放送処理機構を備えた文字多重放送処理部(1)と、投票処理部(2)からなり、前記文字多重放送処理部(1)からの文字多重放送用のディジタル信号を変換して投票処理部(2)の計算機システムに入力し、編集、処理した結果を前記文字多重放送処理部(1)で表示する手段(1)と、前記投票処理部(2)からの指示に基づき、前記投票処理部(2)の計算機システムのキーボード(KB)又はリモートキーパッド(8)により、電話投票システムに投票情報を送信する手段(18)とを備えた在宅投票システム用端末(9)において、前記在宅投票システム用端末(9)における動作モードを選択する手段(2a)と、投票する場合の、発売区分選択画面(A)と、投票入力の指示及び投票結果を表示する画面(B)と、表示する場合の、発売区分選択画面(C)と、前記画面(C)での選択情報に基づくオッズ等選択画面(D,E)を含む表示手段(2b～2f)とを備え、前記動作モード選択手段(2a)により選択した画面(C,D,E)の表示情報に基づき組番、レース番号、

馬名を入力し、その結果を前記投票結果表示画面(B)に表示し確認して投票するか、若しくは、前記動作モード選択手段(2a)にて選択した画面(A)の表示情報に基づき投票入力画面(B)を表示した後、組番、レース番号、馬名を入力し、その結果を前記投票入力画面(B)に表示し確認して投票することを特徴とする。

〔作用〕

第1図において、放送局5から、文字多重放送又はテレビ放送の電波をアンテナ11で受信し、在宅投票システム用端末9に取り込む。在宅投票システム用端末9ではこの端末内の計算機システムで前記模所多重放送を加工、或いは、テレビ放送から動画を抽出してテレビ10に表示する。在宅の顧客は、例えばリモートキーパッド8により画面に表示されたメニューを選択し、表示された情報に基づき投票を行う。投票する組番、金額が決まればリモートキーパッド8の「送信」キーを押す。この投票データは電話機7を使用して電話網6を

介して競馬会の総合センタ4内の電話投票システム3に送信される。

第2図により在宅投票システム用端末の構成を説明する。在宅投票システム用端末9は文字多重放送処理部1と投票処理部2により構成され、顧客がリモートキーパッド(RKP)8を操作して特定のチャネルを選択することによりチューナ部12にて受信した文字多重放送の電波は信号抽出部13にてデジタル信号に変換され、投票処理部2に転送されて記録部16に一旦格納される。

投票処理部2では、中央処理装置(CPU)14制御の元に記録部16に格納されている文字多重放送のデジタル信号を加工して必要な画面データを作成し、文字多重放送処理部11に転送し、文字多重表示制御部17を介してテレビ10に表示される。

顧客は表示された画面を見ながらリモートキーパッド8を操作して投票を行う。又、テレビ画面については文字多重処理部1の信号抽出部13及び文字多重表示制御部17を介してそのままテレビ10に送られ通常のテレビ画像を表示する。

〔実施例〕

以下、第3図以下の図面に沿って本発明の実施例を説明する。第3図は本発明による投票方式の基本的手順であり、第4図(a)～(e)に示す画面A～Eは本発明の表示画面を示している。

まず、直接投票を行うために、リモートキーパッド8を操作して在宅投票システム用端末9の投票処理部2の動作モード選択2aを「投票」モードにする。

中央処理装置(CPU)14の制御の元にテレビ10には第4図(a)に示すように「投票の場名及び発売区分選択」なるテレビ画面Aが表示される。

ここで、画面Aに表示されている場名の番号及び発売区分の番号を入力すると、入力された例えば投票場名の色が変わって、第4図(b)に示すように次の「投票入力」画面B、B'が表示される。

この「投票入力」画面Bにおいて、下部に表示されている「式別を入力して下さい」の表示により式別、番号、金額をリモートキーパッド8により入力すると、オッズと人気が自動的に表示され、

さらに投資金額の合計が算出される。

画面B'は顧客が第10レースに投票し、まだ「送信」していないデータの一覧を示す。このデータを総合センタ4に送信したいときはリモートキーパッド8の「送信」キーを押すことにより、投票処理部2のCPU14の制御のもとに回線制御部18が起動され、自動的に投票データを送信する。送信が終了すると自動的に回線を解放する。

ここまで、発売窓口での投票を在宅投票システム用端末9にて行った場合の一例であるが、次に、本発明の投票方式による投票例を以下に説明する。

まず顧客はリモートキーパッド8を操作して在宅投票システム用端末9の投票処理部2の動作モード選択2aを「表示」モードにする。CPU14の制御のもとにテレビ10は第4図(c)に示すように「投票の場名、表示区分選択」なる画面Cが表示される。ここで、場名の番号を入力し表示内容選択画面にて出走表を選択する。画面Dは出走表でありあり、この出走表をもとに馬番を入力する。

出走表には図示のように枠組毎に馬名が入力されている。投票する者はこの馬名を確認することにより確実に投票することができる。馬番が連勝複式の場合、選択した馬番は枠に変換され、単勝、連勝単式の場合は馬番が画面Eに表示される。画面Dの処理フローチャートを後述する第5図に示す。

画面Eでは、オッズ、人気等が自動的に表示されており、これを参考にして投資金額を入力する。投票データを総合センタ4に送信したい場合は前に述べた操作方法と同じである。

第5図は画面Dに示す出走表の処理フローチャートである。前述の手順により画面Dの如く出走表を表示すると(1)、投票方式を入力し(2)、馬番を入力する(3)。そして、連勝複式にする否か判断し(4)、連勝複式にする場合にはその馬番を入力し(5)、確認のキー入力をを行う(6)。連勝複式にしない場合にはそのまま確認のキー入力をを行う。さらに、連勝複式にする否か判断し(7)、連勝複式にする場合は枠組を検索し(8)、画面Eの如く表示する(9)。連

勝複式にしない場合はそのまま画面Eの如く表示する(9)。

〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明によれば、馬名選択による投票方式を用いると、操作性がよくなり、かつ好きな馬の組合せで投票を行うことができ顧客へのサービス性の向上につながる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の在宅投票システム用端末による投票方式の原理図、

第2図は本発明による在宅投票システム用端末の構成例、

第3図は本発明による在宅投票システム用端末による投票方式の基本的手順を示す図、

第4図(a)～(e)は本発明の実施例としての各画面表示の例、

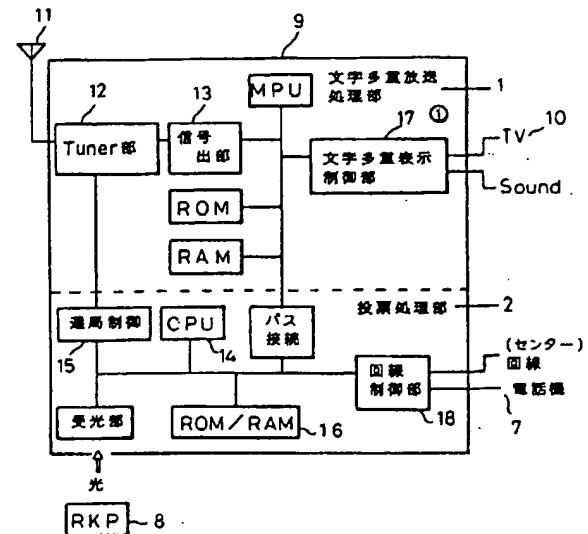
第5図は第4図(d)に示す出走表の処理フローチャート、及び

第6図は従来の電話投票システムの構成例を示

す図である。

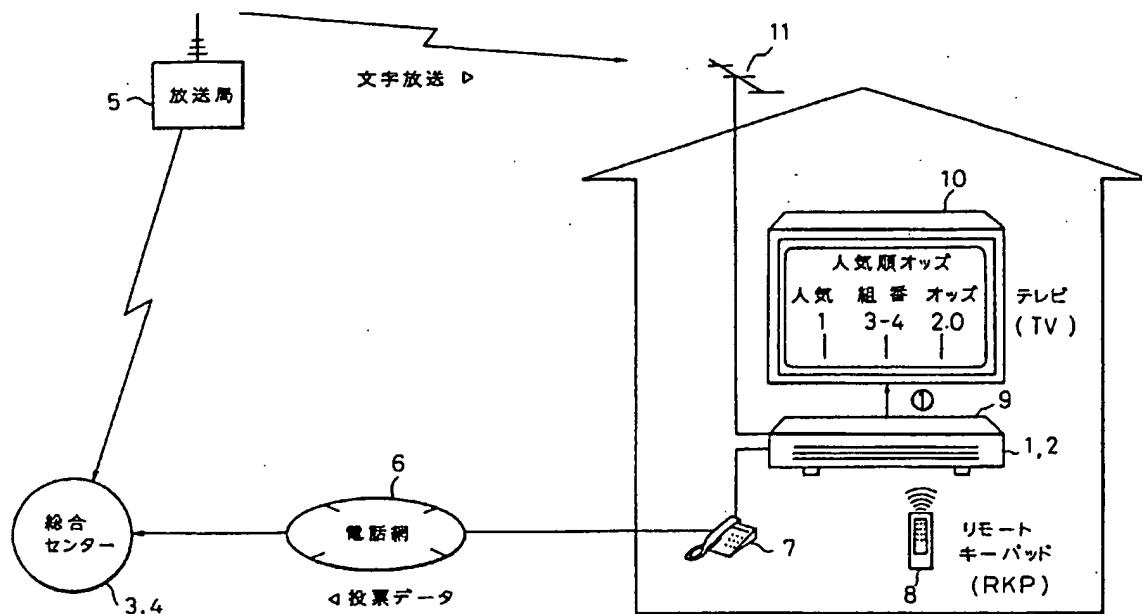
(符号の説明)

- 1 … 文字多重放送処理部、
- 2 … 投票処理部、
- 3 … 電話投票システム、
- 4 … 総合センタ、
- 5 … 放送局、
- 6 … 電話網、
- 7 … 電話機、
- 8 … リモートキーパッド、
- 9 … 在宅投票システム用端末、
- 10 … テレビ、
- 11 … アンテナ。



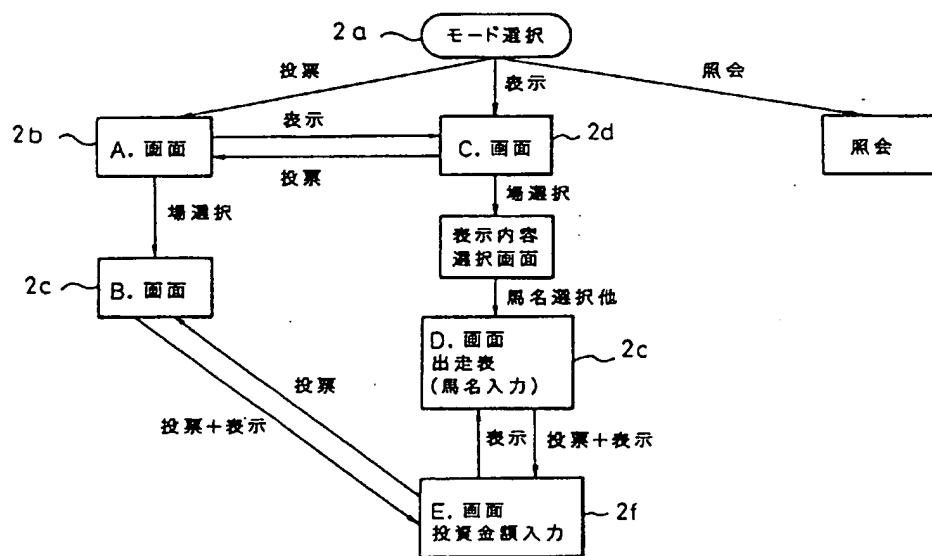
本発明による在宅投票システム用端末の構成例

第2回



本発明の在宅投票システム用端末による投票方式の原理図

第1図



本発明の投票方式の基本的手順を示す図

第3図

A. 投票の場名及び発分区選択

TV画面

投票
場名
1.札幌 2函館 3新潟 4福島 5中山 6東京 7中京 8京都 9阪神 10小倉
発売区分
1当回 2当日発売 3前日発売

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

- ① 場名を指定 → 指定された場名の色が変わる。
 ② 発売区分の入力 → 次画面へ

本発明の一実施例画面表示例

(a)

第4図

B. 投票入力-1

式別	番号	金額 円	オッズ	人気
レ	1-3	10000	16.7	9
レ	2-3	10000	17.7	10

合計 20,000 残高 250,000 円
式別を入力して下さい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

B. 投票入力-2

式別	番号	金額 円	オッズ	人気
レ	1-3	10000	16.7	9
レ	2-3	10000	17.7	10
レ	2-4	20000	12.3	7
レ	3-4	100000	8.7	2
レ	3-5	20000	10.3	5
レ	4-4	5000	9.9	4
レ	4-5	5000	11.6	6
タ	02	10000	15.3	3
タ	04	10000	7.4	1
フ	02	10000	8.1	4

合計 200,000 残高 250,000 円

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

(b)

第4図

C. 表示の場名・表示区分の選択

2d

表示
場名
1.東京 2京都 3福島 4.日本ダービー (重賞レース名) 5.天皇賞 (重賞レース名)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

- ① 場名を指定 → 次画面へ

(c)
第4図

D. 出走表

馬番	ヤエノムテキ	キヨシムサシ
馬番	サクラチヨノオー	メイブレーブ
馬番	マイネルロジャック	ニシノカブトサン
馬番	アイビートウコウ	マイネルフリッセ
馬番	スロクマル	モガミファニー
馬番	トウシ。ウマリオ	カシママイマー
馬番	モガミナイン	シンボリマルタン
馬番	ラガーブラック	デイクターランド
		プリンスルーバス
		サンビアレス

馬番を選択して下さい

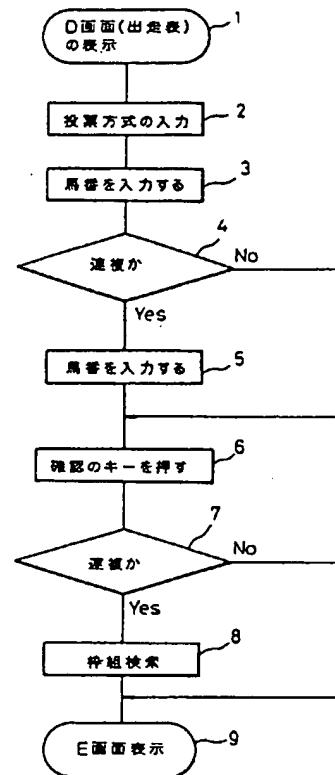
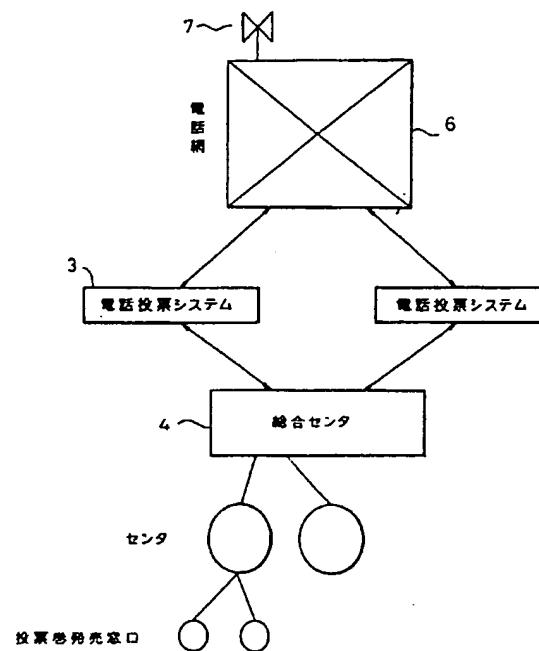
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

- ① 馬番の入力
- 單賞・連単の場合 ... 一頭
 - 連複の場合 二頭

(d)
第4図

E. 投資金額の入力

0	東京10レース通常 9:23現在	2f
1	式別 番号 金額 円 オッズ 人気	
2	レン 1-5 16.7 3	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	金額を入力して下さい。	
10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	

(e)
第4図本発明の出走表の処理フローチャート
第5図従来の電話投票システムの構成例
第6図